

命の大切さを実感する

～赤ちゃんてすごい(ふれあい交流)～

目標・ねらい

生命の尊さの理解。

- ・ 乳幼児との交流直接体験により、生きていることの感動を実感させる。
- ・ 生命の尊さの理解に基づき、自他の生命を慈しみ生きていく実践的態度を育てる。

学校・家庭・地域社会との連携

- ・ 市子ども館，子育てサークル，地域ボランティアとの連携を図りながら総合的に取り組む。
- ・ 各家庭における子育ての中で，
生きていることのすばらしさを実感させる。

教育課程上の位置づけ
選択教科(家庭科)

事前指導・経緯

幼児の遊び，食物及び被服に関する学習を通して，その心身の発達に応じた生活について理解させ，幼児に対する関心を高める。
幼児の発達と環境との関係について考えさせる。

広報活動

生徒会・委員会が，中心になって，本年度の「いのちを大切にするキャンペーン」の取り組みを広報する。

教育課程の編成

3年選択教科の幅の拡大と1単位時間の(4校時～給食終了)の弾力的運用
共通理解(場所，時間，安全への配慮)

地域との連携

市子ども館
地域子育てサークル
地域ボランティア
親子協力者の募集

各教科との連携

年間計画に応じて連携を図る

家庭科
家族と家庭生活
幼児の発達と家族

道徳
家族愛・生命の尊重
畏敬の念・思いやり
生きる喜び

総合的な学習の時間
～テーマ「共生」～
1年職場訪問
2年職場体験

実施内容

乳幼児を知る

生命の誕生
乳幼児の発達
乳幼児との関わり方
(児童厚生員の指導)



ふれあい実習

親子ふれあい遊びの観察と参加
遊んであげよう
・絵本の読み語り、遊具や身体で遊ぶ
新聞紙遊びをしよう
・ちぎる、丸める、折る、散らかす
ミニ育児体験
・オムツ替え、授乳、食事、衣服の脱着、
発育測定
お別れ会
・自作遊具遊びとプレゼント
(児童厚生員、地域ボランティアの指導)



おもちゃ制作

空き容器や廃材を活用
・児童厚生員・地域ボランティア
の指導



事後指導

実践的態度

各教科・領域との連携，深化
・統合
子育て支援ボランティアへの
参加



啓発活動

家庭への啓発
実習風景写真の展示



実習のまとめ

話し合い
・親子関係や赤ちゃんのたくましさ
・命の尊厳や畏敬の念
文章でまとめる
・実習の感想と今後の決意

取組の評価

特色ある教育活動への位置づけと継続方法について
関心・意欲・態度について
・自分が今ここにいること，育ててもらって今があることの実感
・命の尊厳を実感し，自他の生命を慈しみ，生きていく実践的態度の育成
関係機関との連携協力について
地域社会への貢献と学校の信頼確保について
・親が将来，地元の中学校へ入学させたいと考えたとともに子育ての自信を深める
・生徒の子育てボランティアへの参加と，社会の一員としての自覚を深める

